



2024年1月17日

各 位

会 社 名 株式会社ジーエヌアイグループ
代 表 者 名 取締役代表執行役社長兼CEO イン・ルオ
(コード番号: 2160 東証グロース)
問 合 せ 先 執行役CFO 北川 智哉
(TEL. 03-6214-3600)

Cullgen が新たな取締役とサイエンティフィック・アドバイザーを発表

株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」）の子会社である Cullgen Inc.（以下「Cullgen」）が、現在アストラゼネカ-CICC ファンド及びアストラゼネカ社中国部門の事業開発においてマネージングディレクターを務める Xiaogang Pan 博士を新たな取締役として、また、現在英国のアストラゼネカ社グローバル研究及び開発部門にて、創薬におけるヒット化合物探索の責任者である Ian Storer 博士をサイエンティフィック・アドバイザーとしてお迎えした旨、以下のプレスリリースを行いましたのでお知らせいたします。Pan 博士及び Storer 博士は、アストラゼネカ社のそれぞれの職務を引き続き継続され、当社の職務は兼任にて遂行されます。

<https://www.cullgen.com/news>

Cullgen のプレスリリース主要部分の参考訳を以下に添付いたします。原文と内容の相違がある場合は、原文の内容が優先しますことをご了承下さい。

『先進的なバイオテクノロジー企業で、独自技術である uSMITE™プラットフォームを基にした標的蛋白質分解誘導技術を用いて低分子治療薬を開発している Cullgen は、本日、Xiaogang Pan 博士を取締役に、Ian Storer 博士をサイエンティフィック・アドバイザーに追加することを発表しました。

オハイオ州立大学で薬学の博士号を取得した Xiaogang Pan 博士は、現在アストラゼネカ-CICC ファンド及びアストラゼネカ中国部門の事業開発のマネージングディレクターを務め、革新的医薬品への投資活動をリードしています。Pan 博士は研究、事業開発、投資の分野で約 20 年の経験を有しており、2015 年にアストラゼネカに入社する前は、アムジェン、バイエル、グラクソ・スミスクライン、フェリング・ファーマに勤務しておりました。

一方、Ian Storer 博士は現在、アストラゼネカ（英国）のグローバル研究及び開発部門に

において、創薬におけるヒット化合物探索の責任者を務めております。アストラゼネカに入社する以前は、薬剤師および臨床入り前のプロジェクトリーダーとして、10年間ファイザーに勤務しておりました。医薬品業界に加入する前、Ian Storer 博士は、有機化学の博士号をケンブリッジ大学で Steven V. Ley 教授のもとで取得し、その後、カリフォルニア工科大学で David W. C. MacMillan 教授と博士研究を行っておりました。

Cullgen の CEO である Ying Luo 博士は、「Pan 博士と Storer 博士が Cullgen のこれらの重要なアドバイザーの役割に参加していただけることを非常に嬉しく思っています。Xiaogang と Ian は、アストラゼネカで標的蛋白質分解誘導剤や医薬品開発に関する豊富な経験を持っており、彼らの貢献が当社のプラットフォームと標的蛋白質分解誘導剤のポートフォリオを進展させるのを楽しみにしています」とコメントしました。』

標的タンパク質分解誘導技術は、当社およびその関連会社（以下「当社グループ」）の創薬活動の中核をなし、当社グループの将来の発展を可能にする重要な技術です。当社はこれまでも Cullgen を通じて標的タンパク質分解誘導技術に投資をして参りました。2018年3月の Cullgen 設立時には当社がシードラウンド資金を提供し、それ以来、当社代表執行役社長のイン・ルオ博士が Cullgen の社長も兼任し、2021年からは当社取締役のトーマス・イーストリングが Cullgen の CFO を務めるなど、当社グループが財務面のみならず、経営面でも Cullgen を支援して参りました。

当社グループは、今後も Cullgen を全面的に支援し、当社グループ内外との協力・提携を通じ、その標的タンパク質分解誘導技術を当社グループの医薬品事業の発展に最大限活用してゆく所存です。

以 上